

東混

The Philharmonic Chorus of Tokyo

since 1956

— 60th Anniversary —

東京混声合唱団 創立 60 周年記念定期演奏会
柴田南雄 生誕 100 年・没後 20 年記念公演
合同記者発表会

2016 年 3 月 28 日 17 時 00 分
サントリーホール リハーサル室

ごあいさつ

1956年に結成した東京混声合唱団。今年、還暦を迎えることになった。

当時の芸大音楽科の4年生が中心になって組織された合唱団で、卒業すると実家に帰ってしまうメンバーが出てくるかも知れないということで、第一回の演奏会を卒業式の日で開催したという。田中信昭先生に何うと、つい昨日のことのように話される鮮やかな記憶にいつも驚かされる。プロの合唱団というものが果たしてやっつけていけるものかどうか分からない切迫感が常にあり、とにかく上手くなるしかない、演奏会がなくても、日々集まって練習をしていたという。

そして、創立時に掲げた目標は、今も色褪せず、東混の主目標となっている。

- 一、楽しい雰囲気の演奏会を行う。
- 一、職業合唱団として成立させる。
- 一、日本の合唱曲を創る。

日本の合唱曲というものが黎明期であった当時から、積極的に委嘱初演を行い、合唱界を先頭になって牽引してきた歴史がある。結果として、日本の合唱界は大きな広がりを見せ、今では世界に誇れる一大文化となった。しかし、それと同時に、東混はプロであることの存続意義を改めて考えさせられることにもなった。

還暦を迎えた東混は今、生き残りをかけて生まれ変わろうとしている。自分も音楽監督に就任してから2年が経ち、さまざまな改革案を今実行に移す時がきたと感じている。時代のニーズに応え、社会から認められなければ、プロ団体は生きてはいけない。

ただ、改革といっても、僕が考えるのは”東混ルネサンス”である。ヒントは全てこれまでの歴史の中にある。創立時の初心にかえることが大事であり、当時のパワーをもってすれば、越えられない難局はないはずなのだ。誕生がセンセーショナルであった東混だけに、還暦を迎えてからの第2の人生も光り輝くものにならなければ、今まで尽力されてきた方々に申し訳が立たない。

東混が、日本の合唱界を牽引するオピニオンリーダーであり続け、世界に誇れるプロ合唱団であり続けられるよう、粉骨砕身頑張っていきたいと思っている。



山田 和樹 YAMADA Kazuki (東京混声合唱団 音楽監督・理事長)

1979年神奈川県生まれ。東京藝術大学指揮科で小林研一郎・松尾葉子の両氏に師事。第51回ブザンソン国際指揮者コンクール(2009年)で優勝後、ただちにモントルー=ヴェヴェイ音楽祭にてBBC交響楽団を指揮してヨーロッパデビュー。同年ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮、すぐに再演が決定する。2010年には小澤征爾氏の指名代役としてスイス国際音楽アカデミーで、2012年8月にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本で指揮し絶賛された。同月にサントリー芸術財団サマーフェスティバルでクセナキス作曲「オレスティア三部作」も指揮。その後は世界各地の主要オーケストラを指揮し高い評価を得ている。2011年出光音楽賞受賞。2012年渡邊壺雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞受賞。現在スイス・ロマンロ管弦楽団首席客演指揮者、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、横浜シンフォニエッタ音楽監督、仙台フィルミュージック・パートナー、オーケストラ・アンサンブル金沢ミュージック・パートナー。

東京混声合唱団とは2004年以来、委嘱作品を含む定期演奏会から全国各地での合唱公演、オペラ、オーケストラとの演奏、放送録音、青少年を対象とした音楽鑑賞教室に至るまで200回を超える共演を重ねている。2014年4月音楽監督、2016年3月理事長に就任。ベルリン在住。



東京混声合唱団 創立 60 周年記念定期演奏会
柴田南雄 生誕 100 年・没後 20 年記念公演
合同記者発表会

次第

1 就任

理事長 山田 和樹 (音楽監督兼任)
レジデント・アーティスト 藤倉 大 (作曲家)
ビジネス・アドバイザー 石倉 洋子 (一橋大学名誉教授)
運営アドバイザー 加納 民夫 (日本オーケストラ連盟参与・元 NHK 交響楽団常務理事)

2 新ロゴ、英語名称変更

新ロゴ
英語名称 *The Philharmonic Chorus of Tokyo*

3 東京混声合唱団 定期演奏会

— 創立 60 周年記念連続定期演奏会シリーズ —
主催 一般財団法人 合唱音楽振興会
協賛 サントリーホールディングス株式会社

4 柴田南雄生誕 100 年・没後 20 年記念演奏会

～山田和樹が次代につなぐ《ゆく河の流れは絶えずして》～
主催: 柴田南雄生誕 100 年・没後 20 年記念演奏会実行委員会
(発起人: 山田和樹(代表)/池辺晋一郎/一柳慧/海老沢敏/小澤征爾/佐野光司/
田中信昭/堤剛/徳丸吉彦/平井俊邦/福井直敬/船山隆/前田昭雄/湯浅譲二)
助成: 朝日新聞文化財団
協賛: サントリーホールディングス株式会社 協力: サントリーホール

山田 和樹 YAMADA Kazuki 理事長(音楽監督兼任)

→ [ごあいさつページ](#)を参照

藤倉 大 FUJIKURA Dai レジデント・アーティスト(作曲家)

→ [第 241 回定期演奏会ページ](#)を参照

石倉 洋子 ISHIKURA Yoko ビジネス・アドバイザー (一橋大学名誉教授)

専門は、経営戦略、競争力、グローバル人材

バージニア大学大学院経営学修士(MBA)、ハーバード大学大学院 経営学博士(DBA)修了。マッキンゼー社でマネジャー。青山学院大学国際政治経済学部教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。

日清食品ホールディングス株式会社、ライフネット生命保険株式会社、双日株式会社、株式会社資生堂の社外取締役、世界経済フォーラムの Global Agenda Council Future of Jobs のメンバー。

これまで、富士通株式会社、株式会社商船三井社外取締役、郵政公社社外理事、総合科学技術会議非常勤議員、日本学術会議副会長、その他 行政改革本部規制改革委員会委員、文部科学省中央教育審議会委員、産業クラスター研究会副座長、公正取引委員会独禁法懇話会委員、経済財政諮問会議専門委員会「選択する未来」Working Group 委員など。

日本および外国企業の経営幹部研修・戦略ワークショップ、グローバル人材、多様性推進、女性活用などに関する各種セミナー、アジア・欧米の会議のパネリスト。2010 年より「グローバル・アジェンダ・ゼミナール」、2013 年より「ダボスの経験を東京で」など、世界の課題を英語で議論する「場」の実験を継続中。

加納 民夫 KANO Tamio 運営アドバイザー(日本オーケストラ連盟参与)

1946 年生まれ。東京藝術大学楽理科で柴田南雄に師事。1970 年NHKに入局、「N響アワー」、黒柳徹子と芥川也寸志の「音楽の広場」等を演出。1987 年NHK交響楽団に出向、指揮者や曲目の構築を担当。1990 年復職、チーフプロデューサーを経て音楽番組部長。ゲルギエフ監督によるオペラやキリアン振付によるバレエを現地でハイビジョン共同制作(エミー賞ファイナリスト)。1999 年大分放送局長。2002 年N響常務理事。ヨーロッパ公演、アメリカ公演等を実施。

2008 年日本オーケストラ連盟理事・事務局長、「アジア・オーケストラ・ウィーク」を制作、現在参与。並行して東京藝大大学院や上野学園大で音楽・放送マネジメントを講義。

2013 年から日本芸術文化振興会専門委員。傍ら各地の舞楽等のビデオ収録をライフワークとする。

東混新ロゴ

2015年度より東混のデザイナーを務めておられる岩崎大志氏による作品。
創立当時の愛称「東混」の漢字をモチーフに、
女声(ピンク) 男声(ブルー)による混声合唱のエッセンスを加え、
新しい創造の未来へ向かうイメージが込められている。

東混

東混

TOUKON
since 1956

東混 東京混声合唱団
The Philharmonic Chorus of Tokyo

●林光メモリアル

東混・八月のまつり ～東京混声合唱団特別定期演奏会 No.37～

2016 年 8 月 9 日(火) 19 時開演 第一生命ホール(東京都中央区)

共催 認定 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク／ 第一生命ホール

指揮 大谷 研二 (指揮者)

ピアノ 斎木 ユリ 照明 立川 直也 (満平舎)

林光と東京混声合唱団の出会いは 1958 年、後に《原爆小景》の第 1 曲目となった「水ヲ下サイ」(原民喜:詩)から始まりました。「八月のまつり」は、《原爆小景》を作曲者の林光指揮のもと東京混声合唱団が歌い継ぐ演奏会として 1980 年に第 1 回目の公演がスタート。2012 年に林光が亡くなるまで 32 年間続けられ、これまで協同して合唱芸術を創造する先駆的な公演としてその役目を担いました。その後も追悼演奏会を経て、遺志を受け継ぎながら毎年演奏を続けています。今回は、2014 年 35 回目のまつりでも登壇し、信長貴富の委嘱作品初演でも好評を博した大谷研二を指揮者に迎えます。恒例の《原爆小景》はもちろん、生誕 120 年を迎える宮沢賢治の詩に林光が作曲した混声合唱曲集の他、新実徳英の代表作、広島原爆の悲慘さと平和への祈り、そして人類浄化への願う《祈りの虹》の演奏に注目が集まります。

プログラム

- 林 光 《原爆小景》(1958/1971 年委嘱作品・2001 年完結)
- 新実徳英 混声合唱とピアノのための《祈りの虹》(1984)
- 林 光 宮沢賢治の詩による混声合唱曲集 (2004-08)

プロフィール

大谷 研二 OTANI Kenji (指揮)

1980 年武蔵野音楽大学卒業後、東京混声合唱団に入団。その後ヨーロッパに留学し、主にスウェーデン、ドイツ、イギリスで E.エリクソン、H.リリング、W.シェーファに師事。フランクフルト音楽大学合唱指揮科を卒業。デュプロマを取得し帰国。武満徹監修「Music Today」、サントリー「サマーフェスティバル」などの主要な音楽祭で合唱、室内楽を指揮し注目を浴びる。1990 年度村松賞受賞。1998 年ライブツィヒでの古楽オーケストラとの共演や、2001 年には韓国国立合唱団定期公演に客演するなど海外においても実績を重ねる。NHK 交響楽団定期公演をはじめとした大規模な作品のコーラスマスターとしての顕著な実績も評価されている。

東京混声合唱団においては、1990 年コンダクター・イン・レジデンスに迎えられ、1991 年第 127 回定期演奏会に初登壇。以後数々の共演を重ねる。昨年指揮者就任 25 周年を迎え、東京と大阪で開催した記念公演では好評を博した。現在、東京混声合唱団指揮者、NHK 東京児童合唱団常任指揮者、活水女子大学音楽学部学術研究所教授。2010 年 4 月より、NHK-FM「ビバ! 合唱」の DJ を務める。中世から現代に至る色彩ゆたかな作品の紹介と流麗な指揮によって高い評価を受けている。



●いづみホール定期演奏会 No.21

2016 年 8 月 19 日(金) 19 時開演 いづみホール(大阪市中央区)

協賛 いづみホール(一般財団法人住友生命福祉文化財団)

指揮 田中 信昭 (桂冠指揮者)

ピアノ 中嶋 香

本物の合唱芸術を関西でもという声から東京混声合唱団の大阪定期が 1996 年にスタート。屈指の音響を誇るいづみホールにて公演を重ね今回で 21 回目を迎えます。関西圏には高い音楽水準を誇る合唱団が多く活動を展開し、合唱芸術が盛んなことでも知られています。創作分野でも世界の楽壇で活躍する作曲家を数多く輩出しており、西村朗、久保摩耶子、岸野末利加、酒井健治の各氏の作品等(委嘱作品を含む)を、近年本公演にて特集し話題を集めています。今回は東京混声合唱団創作者の一人で現在桂冠指揮者の田中信昭が、2004 年以来 12 年ぶりに大阪定期指揮を務めます。プログラムでは、田中が旧制大阪高校で共に合唱を歌った多田武彦の代表作をはじめ、数多くの共同作業を重ねてきた間宮の傑作、そして新実が和合氏亮一の詩に震災への思いを込めた近年の大作の大阪初演。さらに、東混が歌い継いできた愛唱歌の数々等、合唱芸術を築き上げてきたこの半世紀以上に渡る膨大なレパートリーの中から選りすぐった特別プログラムの演奏をお聞きいただけます。

プログラム

多田武彦 混声合唱組曲《柳河風俗詩》(1954/1986)

間宮芳生 合唱のためのコンポジション第 10 番《オンゴー・オーニ》(1981)

新実徳英 混声合唱とピアノのための《黙礼スル 第 1 番》(2015)

黒人霊歌《ジェリコの戦い》／清水 脩:編曲《ロンドンデリーの歌》／田中信昭:編曲《カリンカ》

三善 晃:編曲《ソーラン節》／池辺晋一郎:編曲《ベンガルの舟唄》

プロフィール

田中 信昭 TANAKA Nobuaki (指揮)

1956 年東京藝術大学を卒業と同時に声楽家有志と東京混声合唱団を創立、常任指揮者に就任。今日まで、作曲家と協力して新しい日本の合唱音楽の創造に力を尽くし、東混定期などで 450 曲を超える現代合唱曲を初演している。1997 年桂冠指揮者の称号を贈られる。2007-13 年音楽監督。2007-16 年理事長。

カラヤン:ベルリンフィル、サヴァリッシュ:フィラデルフィア管弦楽団、シノーポリ:フィルハーモニア管弦楽団、マタチッチ:NHK 交響楽団ほか数多くのオーケストラ公演の合唱指揮。オペラの指揮も多く手がけ、モンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」などの三作品、ブリテン「カーリユー・リヴァー」などの教会三部作ほか、数多くの日本のオペラの初演を指揮。1982 年文化庁派遣東混アメリカ公演では、現代日本の作品を演奏、ニューヨークほか七大都市で成功をおさめた。World Youth Choir '97 Japan、WYC' 99-00 Winter Belgium、WYC20th Anniversary Sweden 2009、Asia Youth Choir' 98、'04 Niigata を指揮。世界合唱シンポジウム'96 Sydney、'99 Rotterdam、'05 Kyoto にて講演。東京藝術大学講師(1971-95 年)、桐朋学園大学客員教授(1987-97 年)、国立音楽大学招聘教授(2008-)1986 年毎日芸術賞、2006 年朝日現代音楽賞、2010 年エクソンモービル音楽賞受賞。2000 年勲四等瑞宝章受章。



●第 240 回定期演奏会

2016 年 10 月 7 日(金) 19:00 開演 東京文化会館小ホール(東京都台東区)

指揮 田中 信昭 (桂冠指揮者)

ピアノ 中嶋 香

東京混声合唱団は 1956 年 3 月 31 日に開催した第 1 回定期演奏会をもって誕生し、以来我が国における合唱音楽の発展を牽引するかたちで実績を刻んできました。定期演奏会は多岐に渡る活動の根幹をなし、これまで 207 曲に及ぶ新作の誕生をもたらすと共にあらゆる作品の演奏を通してレパートリーを開拓し、それらを世界へ向けて発信し続けています。大阪定期に続き本公演でも、団の創立者の一人であり現在桂冠指揮者でもあります田中信昭が指揮を務めます。プログラムは、団創立 4 年目の 1960 年別宮貞雄への委嘱作品の再演と、昨年 3 月に初演された野平一郎への委嘱作品の再演他、今若手を代表する女流作曲家平川加恵への委嘱作品初演を含みます。昨年 10 月第 237 回定期演奏会(田中信昭指揮)にて、平川による混声合唱のための作品《青きスパーク～石原三郎の短歌による～》が演奏され好評を博し、今回の新作にさらなる注目が集まります。

田中と東混は創立以来、作曲家と共に新しい作品を創造し普及させる活動を続けて参りましたが、今回はまさにその理念を象徴する公演となります。

プログラム

- 別宮貞雄 《北国民謡によるパラフレーズ》(1960 年委嘱作品)ー再演ー
野平一郎 混声合唱とピアノのための《転調するラヴソング》(2015 年委嘱作品)ー再演ー
平川加恵 《タイトル未定》(2016 年委嘱作品)ー初演ー
ほか

プロフィール

平川 加恵 HIRAKAWA Kae (作曲)



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学大学院修士課程作曲専攻修了。藝大在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞受賞。修士課程修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。

2008 年、武生作曲賞入選。2010 年、第 20 回芥川作曲賞ファイナリスト。2012 年、第 81 回日本音楽コンクール作曲部門第 1 位、岩谷賞(聴衆賞)、明治安田賞受賞。第 29 回現音作曲新人賞において富樫賞、聴衆賞受賞。2013 年、「創造の杜～藝大現代音楽のタベ」において、藝大内選抜作品として作品が演奏される。これまでに作曲を佐藤真、中田直宏、夏田昌和、野平一郎の各氏に師事。

2013 年度、東京藝術大学音楽学部作曲科教育研究助手。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校教諭、同大学音楽部作曲科兼任講師。

●第 241 回定期演奏会

2016 年 12 月 16 日(金) 19:00 開演 第一生命ホール(東京都中央区)

共催 認定 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

助成 一般社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)／公益財団法人花王芸術・科学財団

公益財団法人朝日新聞文化財団／公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

指揮 山田 和樹 (音楽監督)

2014 年 4 月東京混声合唱団は新しい音楽監督に山田和樹を迎えました。以後、東京と大阪での音楽監督就任記念公演を皮切りに全国各地での合唱公演の他、オペラ、オーケストラとの演奏、放送録音等で共演を繰り広げ、共に合唱芸術の新境地を切り開きはじめています。定期演奏会での山田和樹指揮は就任記念公演以来の登壇となり、これまでの創造の歴史を引き継ぐ真価を問う公演となります。

プログラムでは「作曲家の系譜シリーズ Vol.1 フランス編」として、近現代のフランス文化に影響を受けた作曲家の代表作品を特集します。20 世紀スペインを代表するロドリゴの秘曲、戦争の時代を映し出すミヨーの傑作、近代最高峰の宗教音楽であるデュリュフレのレクイエム、日本人作曲家では大澤壽人作品の蘇演。そして、国際的な活躍が目覚ましい藤倉大氏への委嘱初演が実現します。フランスのオーケストラでの客演も多く、その音楽文化に造詣の深い山田らしいプログラミングであり、世界の楽壇で磨かれた独特の感性が発揮されます。新音楽監督山田和樹に合唱芸術の新しい未来を託し、その創生期の核となる本公演において合唱芸術の神髄を披露します。

プログラム ～作曲家の系譜 Vol.1 フランス編～

ホアンキン・ロドリゴ 《A la chiribirivuela》(1952)／《Yo tinc un burro》(1933)

ダリウス・ミヨー 《戦争カンタータ》(1940)

大澤壽人 《小ミサ曲》[オルガン編曲版]—初演—

藤倉 大 《タイトル未定》(2016 年委嘱作品)—初演—

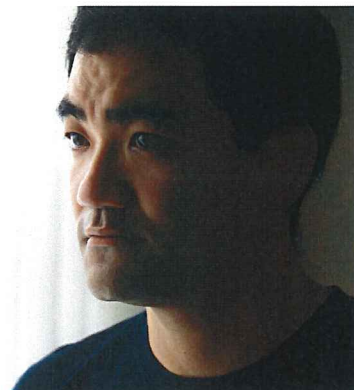
モーリス・デュリュフレ 《レクイエム》[オルガン版](1947)

プロフィール

藤倉 大 FUJIKURA Dai (作曲)

1977 年大阪生まれ。15 歳で渡英し、エドウィン・ロックスバラ、ダリル・ランズウィック、ジョージ・ベンジャミンらに師事。ザルツブルグ音楽祭、ルツェルン音楽祭、BBC プロムス、バンベルク響、シカゴ響、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、シモン・ポリバル響等から委嘱され国際的な共同委嘱も多数。これまでにブーレーズ、エトヴェシュ、ノット、ドゥダメル、アルミンク、リープライヒ、井上道義、山田和樹らが藤倉の作品を初演・演奏している。2015 年 3 月にシャンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱によるオペラ「ソラリス」が世界初演され、現地メディアから高い評価を得た。2016 年は、尺八の藤原道山委嘱による《ころころ～独奏尺八のための》、トッパンホール 15 周年記念委嘱作品でジャン=ギアン・ケラスのための《osm～無伴奏チェロのための》等が世界初演予定。楽譜はリコルディ社から出版されている。Minabel Records を主宰。www.daifujikura.com

2016 年度、東京混声合唱団レジデント・アーティストに就任。



● 第 242 回定期演奏会

2017 年 3 月 15 日(水)19:00 開演 東京文化会館小ホール(東京都台東区)
～コンダクター・イン・レジデンス就任記念～

指揮 水戸 博之 (コンダクター・イン・レジデンス)

照明 立川直也(満平舎)

新進気鋭の若手指揮者、水戸博之の定期デビュー公演。東京混声合唱団とは 2012 年に東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会(広上淳一指揮)の合唱指揮者として初共演。以後、NHK 交響楽団や東京都交響楽団定期公演の東京混声合唱団の合唱指揮者として公演を成功へ導く他、文化庁主催による巡回公演、各地での特別演奏会等で共演を重ねています。またオーケストラやオペラのトップレベルのステージでも確実な経験を積んでおり、新世代の斬新な感性から生み出される音楽作りにご期待ください。

プログラムではまず、日本を代表する重鎮作曲家―柳慧、そして水戸が学生時代に師事した伊左治直の両氏への委嘱初演が実現します。その他、20 世紀ハンガリーを代表し前衛音楽を牽引したリゲティが合唱のために遺した難曲、1997 年東混委嘱作品《自然の声》でも知られ国際的に活躍するカナダの作曲家シェーファーによる日本の俳句に作曲したシアターピースを含む意欲的な内容。合唱芸術にとまらず、あらゆる音楽分野において将来を期待される新人による注目のデビュー公演となります。

プログラム

ジェルジ・リゲティ 《ヘルダーリンによる 3 つの幻想曲》(1983)

マリー・シェーファー 《17 の俳句》(1997)

伊左治直 《タイトル未定》(2016 年委嘱作品初演)―初演―

―柳 慧 《タイトル未定》(2016 年委嘱作品初演)―初演―

プロフィール

水戸 博之 MITO Hiroyuki (指揮)



1988 年北海道江別市出身。東京音楽大学、及び同大学大学院作曲指揮科(指揮)を卒業。在学中の 6 年間、給費特待奨学生に選ばれる。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、田代俊文、加納明洋、三河正典、ピアノを奥山優香、北島公彦、米田栄子、野田清隆、音楽理論を伊左治直の各氏に師事。

2010 年、サントリーホール主催レインボウ 21 デビューコンサート出演。2012 年、東総文化会館「東総の第九」にて東京音楽大学シンフォニーオーケストラを指揮。井上道義、及び下野竜也両氏によるマスタークラスを受講し、いずれも優秀者に選出され、オーケストラアンサンブル金沢、金沢大学フィルハーモニー管弦楽団、上野学園大学管弦楽団を指揮する。その他、日生劇場、及び藤原歌劇団のオペラ公演に副指揮者として携わる。

現在、オーケストラトリプティーク常任指揮者。

2015 年 4 月、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに就任。

一柳 慧 ICHIYANAGI Toshi (作曲)



作曲家、ピアニスト。神戸生まれ。1954年からニューヨークのジュリアード音楽院に学び、ジョン・ケージ、デヴィッド・テュードア、ステファン・ウォルペ、マース・カニングハムらと前衛的音楽活動を展開。61年に帰国後は、偶然性の導入や図形楽譜を用いた作品の発表のほか、日欧米の新しい音楽を紹介。その後も欧米各地で作品を発表し続けるなど国際的な活動を活発に行っている。また国内においても主要な音楽祭に出演の他、80年代から90年代にかけて、国立劇場からの委嘱により、雅楽、伶楽、声明、舞のための大規模な作品を継続的に発表。伝統楽器と声明を中心とした合奏団「東京インターナショナル・ミュージック・アンサンブル—新しい伝統」(TIME)や、正倉院復元楽器を中心とした「アンサンブル・オリジン」を組織し、世界各地にて演奏旅行を行う。

作品は『モモ』、『光』、『愛の白夜』などのオペラ、2016年6月に第10番が初演となる交響曲をはじめとする管弦楽作品、室内楽、雅楽や声明を中心とした伝統音楽など多岐にわたっており、音楽の空間性を追求した独自の作風による作品を発表し続けている。これまでに尾高賞を4回、フランス文化勲章、毎日芸術賞、京都音楽大賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章、旭日小綬章、文化功労者など受賞多数。現在、神奈川芸術文化財団芸術総監督。

東京混声合唱団の委嘱作品に、ミュージック・プロジェクト NO.3(1969)、Voice Act(1973)、Syntax(1977)、子供の十字軍(1983)、雪崩のとき(1985)、渴望(1992)、空に小鳥がいなくなった日(1995)、魔法としての言葉(1997)、水炎伝説(2005)がある。

伊左治 直 ISAJI Sunao (作曲)

1968年生まれ。95年東京音楽大学大学院修士課程修了。在学中、作曲を西村朗氏に、中世西洋音楽史を金澤正剛氏に師事。日本音楽コンクール第1位、日本現代音楽協会作曲新人賞、芥川作曲賞、出光音楽賞を受賞。

これまでの主な活動としては、ラジオオペラ「密室音響劇《血の婚礼》」の制作、「南蛮夜会—伊左治直個展」開催、「ジャック・タチ・フィルム・フェスティバル」でオープニングライブ、現代音楽祭「Music from Japan」(New York)にて2度の招待作曲家、サントリー音楽財団(現在、公演財団法人サントリー芸術財団)コンサート「対話する作曲家—伊左治直」開催、Festival Atempo Caracas 招待作品などがある。また、いわゆる”現代音楽”作品だけでなく、合唱団「Vox Humana」定期公演へ毎回のアンコールピース提供やピアノ作品《魔法の庭》などの、“調性”のある小品も多い。

日本史、民俗学、時代劇、サッカー、ブラジル音楽、映画などへの興味とその影響から、声、即興、パフォーマンスを取り入れたユニークなスタイルの作品を数多く発表し、しばしば自身も出演する。

東京混声合唱団の委嘱作品に、畸形の天女／神絃曲(1997)、フィネガン前夜祭(2000)がある。



2016 年度 主な演奏会ラインナップ

●GAME SYMPHONY JAPAN 16TH CONCERT

2016年4月9日(土)18:00 開演

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 志村健一

管弦楽 東京室内管弦楽団 合唱 東京混声合唱団

【プログラム】

植松伸夫:交響組曲《FINAL FANTASY VII》より

夢幻戦士ヴァリス/天使の詩/ワイルドアームズ

問合せ (株)アイムビレッジ <http://www.aim-vil.com>

●東京混声合唱団 四街道市特別演奏会

～創立60周年記念～

2016年4月24日(日)14:00 開演

四街道市文化センター大ホール(千葉県)

指揮 伊藤 翔

ピアノ 鷹羽弘晃 共演 四街道市音楽協会

【プログラム】

柴田南雄:萬歳流し/高田三郎:水のいのち

ジャヌカン:鳥の歌/波はささやき:モンテヴェルディ/歌い継ぎ

たい日本の歌より、早春賦、からたちの花、夕焼小焼 他

問合せ (公財)四街道市地域振興財団 tel.043-423-1421

●ワンコイン・オルガンコンサート

CHORUS meets ORGAN

2016年6月25日(土)15:00 開演

ハーモニーホールふくい大ホール(福井県)

指揮 松原千振 オルガン 松居直美

合唱 東混ゾリステン

【プログラム】

ブルックナー:アヴェ・マリア/ポティロン:ミサ・ダ・パーチェムより

ノストラテギール:4つのマリアのアンティフォン/リーク:コン

ダリラ/メンデルスゾーン:ひばりの歌/パルムグレン:夏至祭

/チャイコフスキー:夜鶯/J.S.バッハ:われ汝に別れを告げん、

BWV 736、我が魂は主をあがめ BWV 733、他

問合せ (公財)福井県文化振興事業団 tel.0776-38-8280

●東京室内管弦楽団

THE ファンタジーオブクラシック part14

2016年7月11日(月)19:00 開演

紀尾井ホール(東京都)

指揮 橘 直貴

合唱 東京混声合唱団

【プログラム】

三澤 慶:管弦楽と合唱のための日本の四季組曲より「夏」

(東京室内管弦楽団委嘱作品)一初演、他

問合せ 東京室内管弦楽団 tel.03-6459-0316

●GAME SYMPHONY JAPAN 17TH CONCERT

～SEGA Special 2016～

2016年7月17日(日)18:30 開演

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 志村健一

管弦楽 東京室内管弦楽団 合唱 東京混声合唱団

【プログラム】

「オールセガ作品より」ソニックシリーズ/ぷよぷよシリーズ/

スペースチャンネル5/サクラ大戦/シエンムー/デイトナ USA

/NiGHTS into dreams...

問合せ (株)アイムビレッジ <http://www.aim-vil.com>

●長野市音楽フェスティバル アートメント NAGANO2016

東京混声合唱団「合唱の祭典」

2016年7月24日(日)14:00 開演

長野市芸術館メインホール

指揮 大谷研二

ピアノ 若林千春 尺八 関 一郎

共演 長野市民合唱団コールアカデミー

【プログラム】

久石 譲:かぐや姫の物語ー世界初演ー/アルヴォ・ペルト:マ

ニフィカト/柴田南雄:追分節考/若林千春(編曲):島唄/14

世紀のカノン 夏は来たりぬ/ジャヌカン:鳥の歌/ラッソ:エコ

ー/モーリー:今や五月/バンキエーリ:動物たちの音楽会

問合せ (一財)長野市文化芸術振興財団 tel.026-219-3100

●(公社)福知山市文化協会創立70周年特別事業

創立60周年記念 東京混声合唱団演奏会

2016年8月20日(土)14:00 開演

福知山市厚生会館(京都府)

指揮 高谷光信

ピアノ 前田勝則 共演 地元の皆様

【プログラム】

柴田南雄:追分節考/歌い継ぎたい日本の歌より、他

問合せ (公社)福知山市文化協会 tel.0773-22-5594

●第58回熊本県芸術文化祭オープニングステージ

「ヤマカズが贈る 新・合唱」

2016年8月28日(日)15:00 開演

熊本県立劇場コンサートホール

指揮 山田和樹、トヌ・カリユステ

出演 東京混声合唱団、芸文祭合唱団(公募合唱団)、

熊本県少年少女・児童合唱連盟、他

プログラム未定

問合せ (公財)熊本県立劇場 tel.096-363-2233

●音楽堂アフタヌーンコンサート

山田和樹指揮 東京混声合唱団特別演奏会

2016年9月6日(火)14:00開演

神奈川県立音楽堂

指揮 山田和樹

プログラム未定

問合 神奈川県立音楽堂 tel.045-263-2567

●NHK 音楽祭 2016

2016年10月31日(月)19:00開演

NHKホール(東京都)

指揮 トウガン・ソヒエフ

管弦楽 NHK交響楽団 バリトン ギャリー・マギー

合唱 東京混声合唱団

【プログラム】

武満 徹:マイ・ウェイ・オヴ・ライフ

—マイケル・ヴァイナーの追憶に—

問合 NHKプロモーション音楽祭係 tel.03-3468-7736

●創設60周年 よみうり大手町ホール特別公演

山田和樹(指揮)東京混声合唱団「わたしたちのうた」

2016年11月2日(水)19:00開演

よみうり大手町ホール(東京都)

指揮 山田和樹

プログラム未定

問合 よみうり大手町ホール tel.03-6739-5838

●印西市民合唱祭 合唱の集い 2016

2016年11月3日(木・祝)13:30開演

印西市文化ホール(千葉県)

指揮 松井慶太

ゲスト 東京混声合唱団

プログラム未定

問合 印西市生涯学習課文化班 tel.0476-42-5111

●柴田南雄生誕100年・没後20年記念公演

2016年11月7日(水)19:00時開演

サントリーホール(東京都)

指揮 山田和樹

管弦楽 日本フィルハーモニー交響楽団

合唱 東京混声合唱団 武蔵野音楽大学

【プログラム】

柴田南雄:ディアフォニア、追分節考、

交響曲《ゆく河の流れは絶えずして》

問合 (株)東京コンサーツ tel.03-3200-9755

●トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

室内楽の魅力～モーツァルト 第1回

15周年記念ガラ・コンサート

2016年11月20日(日)14:00開演 第一生命ホール(東京都)

東混ゾリステン 他

【プログラム】

モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス、他

問合 トリトンアーツ・チケットデスク tel.03-3532-5702

●山田和樹指揮・東京混声合唱団

2016年12月10日(土)15:00開演

江戸川区総合文化センター大ホール(東京都)

指揮 山田和樹

プログラム未定

問合 江戸川区総合文化センター tel.03-3652-1111

●山田和樹[指揮]東京混声合唱団クリスマスコンサート

2016年12月18日(日)15:00開演

所沢市民文化センター ミューズ(埼玉県)

指揮 山田和樹

プログラム未定

問合 ミューズチケットカウンター tel.04-2998-7777

●東混創立60周年記念 山田和樹指揮

東京混声合唱団厚木特別演奏会～厚木合唱連盟と共に～

2017年1月15日(日)15:00開演

厚木市文化会館大ホール(神奈川県)

指揮 山田和樹

共演 厚木合唱連盟

【プログラム】

高田三郎:水のいのち、他

問合 (公財)厚木市文化振興財団 tel.046-225-2588

●東京混声合唱団茨木市特別演奏会

2017年1月28日(土)15:00開演

茨木市市民総合センター(クリエイティブセンター)(大阪府)

指揮 高谷光信

プログラム未定

問合 (公財)茨木市文化振興財団 tel.072-625-3055

●第92回 N響オーチャード定期

2017年2月4日(土)15:30開演

Bunkamura オーチャードホール(東京都)

指揮 ウラディーミル・フェドセーエフ

管弦楽 NHK交響楽団 男声合唱 東京混声合唱団

【プログラム】

チャイコフスキー:序曲《1812年》作品49

問合 (株)東急文化村 tel.03-3477-9111

山田和樹が次代につなぐ ~ ゆく河の流れは絶えずして ~

柴田南雄作曲



2016年は、柴田南雄の生誕100年、没後20年に当たります。氏は作曲家・音楽学者・音楽評論家として活躍しただけでなく、英才教育で知られる桐朋学園の設立、軽井沢現代音楽祭を開いた「20世紀音楽研究所」の設立等の中心的役割を果たし、広く音楽の啓蒙に尽くしました。また『追分節考』以降のシアターピースでは、日本民謡に基づく新たな作曲の方法論を確立する等、今日の創作世界に大きな影響を与えています。こうした業績に対し1993年に文化功労者として顕彰されました。

この機に、2016年からモンテ・カルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任予定の山田和樹（日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、東京混声合唱団音楽監督）が、柴田南雄の代表作《交響曲“ゆく河の流れは絶えずして”》を中心に、作曲の方法論に新たな地平を拓いたシアターピースを指揮し、戦後日本音楽史における巨人・柴田南雄の作品のもつ魅力と意義を引き出します。

2016
11.7^日 19:00
サントリーホール

柴田南雄 作曲

- ◆ 《ディアフォニア》～管弦楽のための (1979)
- ◆ シアターピース《追分節考》 (1973)
- ◆ 交響曲《ゆく河の流れは絶えずして》 (1975)

指揮：山田 和樹

管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団

合唱：東京混声合唱団 / 武蔵野音楽大学合唱団

尺八：関 一郎

入場料

S ¥7,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,000 / 学生席 ¥1,000 (25歳以下100枚限定)

お問合せ・電話予約

東京コンサーツ 03.3200.9755 (4月18日より) <http://tokyo-concerts.co.jp>

前売り

●チケットぴあ 0570.02.9999 <http://t.pia.jp> (Pコード 293-491) ●ローソンチケット 0570.000.407 <http://l-tike.com>
●サントリーホール・チケットセンター 0570.55.0017 ●東京文化会館チケットセンター 03.5685.0650

主催 | 柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会実行委員会 [発起人：山田和樹(代表) / 池辺晋一郎 / 一柳慧 / 海老沢敏 / 小澤征爾 / 佐野光司 / 田中信昭 / 堤剛 / 徳丸吉彦 / 平井俊邦 / 福井直敬 / 船山隆 / 前田昭雄 / 湯浅譲二]

助成 | 朝日新聞文化財団 | 協賛 | サントリーホールディングス株式会社 | 協力 | サントリーホール



Kazuki Yamada
& Japan Phil

チケット発売開始
2016.4.28

一般財団法人 合唱音楽振興会

ごあいさつ

遠く先史時代より、人類のあるところつねに「歌」があり、「合唱」は祭礼をはじめとして私たちの生活と分かちがたく結びついてきました。昭和31年結成されました「東京混声合唱団」は幾多の困難を克服しながら真摯な合唱活動を展開するとともに、終始作曲家に協力を求めて新しい日本の歌の創造に努めてきました。120曲をこえるこれらの新作は、欧米やアジア諸国にも紹介されるなど、同合唱団の活動はわが国の合唱音楽の発展に大きく寄与してきました。より確固とした財政基盤に立って活動することができたら、というのが同合唱団の長年の悲願でありましたが、このほど関係者の努力によってようやくその願いが実現をみ、「財団法人合唱音楽振興会」が誕生いたしました。「声」こそ、すべての音楽の規範、大本であると言われておりますが、私たちはこれから力を合わせて、より美しく、より楽しい合唱音楽の創造と普及に精魂を傾け、わが国の音楽文化の発展に貢献してまいりたいとお願いいたします。どうか、温かいご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。（昭和56年3月記）

当法人は去る平成24年に一般財団法人へ移行し、ますますの活動を展開してまいります。

●目 的

当法人は、合唱を主体とする音楽芸術の創造、普及を図り、持って我が国芸術文化の発展に寄与することを目的とします。

●事 業

当法人は、上記の目的を達成するため次の事業を行います。

- (1) 合唱音楽の公演 イ) 東京混声合唱団による委嘱作品の初演及び再演 年5回
ロ) アマチュア合唱団と東京混声合唱団との合同による地方演奏会
- (2) 青少年に対する音楽普及 地方の教育委員会との提携による小・中学校での公演
- (3) 合唱作品の委嘱 2016年度の委嘱作曲家は一柳 慧、伊左治直、藤倉 大、平川加恵の各氏。
- (4) 合唱音楽の調査、研究及び国際交流
- (5) 合唱歌手の養成
- (6) 会報及び音楽に関する出版物の刊行 会報 年1回発行

●役 員

代表理事：堤 剛
評議員：黒澤 幸男 / 飯塚 幹夫 / 佐々木 亮 / 山田 茂
理事：田中 信昭 / 池辺晋一郎 / 藤本 草 / 小林 信一（兼事務局長）
監事：菅根 研一

●ご 寄 附

上記の目的および事業の実現のため、当法人では広く個人・法人の皆様にご支援をお願いしております。ご寄附のご意向がございましたら、どうぞ下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

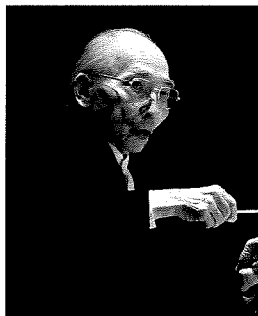
一般財団法人合唱音楽振興会 事務局
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23番地 ベルックス新宿ビルⅡ 6F
tel.03-3226-9755 fax.03-3226-9882
Eメール watanabe@tokyo-concerts.co.jp

4月18日より下記へ移転いたします。
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
tel.03-3200-9755 / fax.03-3200-9882

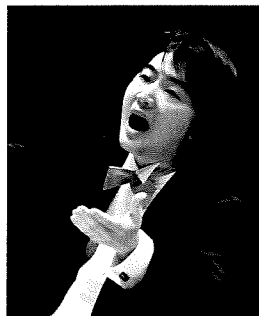
東京混声合唱団



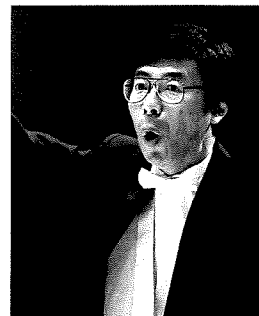
大谷 研二
OTANI Kenji
指揮者 (Conductor)



田中 信昭
TANAKA Nobuaki
桂冠指揮者 (Conductor Laureate)



山田 和樹
YAMADA Kazuki
音楽監督 (Music Director)



松原 千振
MATSUBARA Chifuru
正指揮者 (Permanent Conductor)



水戸 博之
MITO Hiroyuki
Conductor in residence



伊藤 翔
ITO Sho
Conductor in residence



W・マウラー
Wolfdieter Maurer
首席客演指揮者
(Principal Guest Conductor)



松井 慶太
MATSUI Keita
Conductor in residence



山田 茂
YAMADA Shigeru
副指揮者
(Sub Conductor)

※ Concertmaster

徳永 祐一

※ Partmaster

Sop. 松崎 ささら
Alt. 志村 美土里
Ten. 志村 一 繁
Bas. 熊谷 隆彦

※ Librarian

千葉 弘樹

※ Inspector

千葉 弘樹

※ Sub-Inspector

小林 祐美

※ Members

< Soprano >

秋 島 博 子
加 藤 綾 香
和 田 友 子
奥 山 陽 子
好 田 真 理
鈴 江 晃 子
松 崎 さ さら
太 田 道 代
佐 藤 祐 子
木 村 真 弥

< Alto >

小野寺 香 織
依 田 素 子
尾 崎 か を り
志 村 美 土 里
高 橋 由 樹
渡 辺 ゆ き
小 林 祐 美
栗 原 苑 子

< Tenor >

秋 島 光 一
尾 崎 修
千 葉 弘 樹
柿 本 竜 二 郎
志 村 一 繁
渡 邊 隆 寛

< Bass >

徳 永 祐 一
佐々木 武 彦
小 林 潤 一
小 宮 田 圭 一
伊 藤 浩 一
下 西 祐 斗
熊 谷 隆 彦

● 理 事 長 : 山田 和樹

● 理 事 : 秋島 光一 / 小野寺香織 / 熊谷 隆彦 / 千葉 弘樹 / 山田 茂 / 和田 友子

● 監 事 : 太田 哲 / 中脇 幹夫

● 事 務 局 長 : 曾根 研一

● 事 務 局 : 小林 信一 / 闖目 幸司 / 荒井 真 / 斎藤智華子 / 渡辺 誠司

東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo

1956年3月、田中信昭を含む東京藝術大学声楽科の卒業生により創設された日本を代表するプロ合唱団。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。東京、大阪での定期演奏会、各地方での特別演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間200回の公演のほか、レコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた207曲を数える作品群をはじめ、グレゴリオ聖歌からルネサンス、古典派、ロマン派、シェーンベルク、クセナキス、リゲティなどの現代作品、そしてわが国の作曲界の重鎮から若手までと全合唱分野を網羅している。国内での活動に加え、海外では1979年のアセアン5ヶ国公演を皮切りに、アメリカ(1987年)、スウェーデン・ベルギー(1997年)、エストニア・フィンランド(2000年)、カナダ(2002年)、ラトヴィア・エストニア(2006年)、フィンランド(2010年)にて公演を実現させた。

文化庁芸術祭大賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、創立20周年企画「合唱音楽の領域」によるレコード・アカデミー賞などを受賞。2007年、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞。

2016年創立60周年を迎える。

ウェブサイト <http://toukon1956.com>

フェイスブック <https://www.facebook.com/tokyokonsei>

ツイッター <https://twitter.com/toukon1956>



1956年創立当時の東混メンバー



2016年山田和樹と東混メンバー

【お問い合わせ】

東京混声合唱団 事務局

〒160-0005 東京都新宿区愛住町 23 番地ベルックス新宿ビルⅡ 6F
tel.03-3226-9755 / fax.03-3226-9882

※4月18日より

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
tel.03-3200-9755 / fax.03-3200-9882
Eメール watanabe@tokyo-concerts.co.jp
